

第5回 宇陀市子ども・子育て会議 会議録

開催日時	平成26年9月23日(火)午後2時00分～
開催場所	宇陀市役所 大会議室

○子ども・子育て会議開催

(1)開会	・会長あいさつ
(2)議事案件	・子ども・子育て支援事業計画(案)について、資料の第2部第4章～第7章について事務局より説明を行った。
質疑・意見	
委員	<p>・P53の32番、学校評議員制度の活用の内容だが、「保護者や地域の方々の意見を幅広く聞き、学校(園)経営に活かすために・・」となっているが、今、奈良県の学校では、学校地域パートナーシップ事業として、学校コミュニティ協議会をつくることになっている。</p> <p>私が勤務する室生東小学校では、学校評議員は、地域の保護者3名、一方学校コミュニティ協議会の委員は、自治会長さんを主として30名ほどおられる。ですから幅広く聞くということであれば、学校地域パートナーシップ事業を効果的に活用していくほうが、主旨により沿うのではと思う。可能であれば何等かの形で付け加えていただければと思う。</p>
会長	・学校評議員制度と学校地域パートナーシップ事業とは制度が違うのではと思うが。そのあたりも合わせてお願いします。
委員	・目的は少し違う部分もあるが、実際に取り組みしている現場としては、学校評議員さんからの意見、学校コミュニティ協議会の皆さんからの意見も、学校経営にいかしていくためのものということでは、非常に共通している部分が多いのが実情だと思う。幅広くということに注目するのであれば、そうなるのではないかと思う。
委員	<p>・学校評議員制度とは、校長先生の諮問機関で、校長先生から依頼するもので、3年を限度として、5名以内という規定のある制度です。学校コミュニティ協議会は、生涯学習課で実施している事業で、学校と地域が連携するという形になってきていますので、内容はよく似たところもあります。</p> <p>・この32番の意味を広くとっていただき、学校コミュニティ協議会及び学校評議員制度の活用ということで、内容を少し充実した表現がよいのかと思います。</p>
会長	・事務局のほうで文言と内容の充実をお願いします。
事務局	・P59の子どもの人権尊重と権利擁護の推進のところ、77番に学校地域パートナーシップ事業をあげさせていただいたのですが、こちらも検討が必要になってくるかと思います。
委員	・これは、27年度からの放課後子ども教室のことだと思う。学校地域パートナーシップ事業としては、完全にはできてまいせんね。
事務局	・生涯学習課で、榛原や菟田野などで今年度ではなく前年度・前々年度から実施されているようです。
委員	室生東ではスクールバスで登下校しているので、放課後子ども教室は物理的に不可能です。
委員	・今おっしゃって頂いてますように、P53に学校地域パートナーシップ事業を含め、P77では文言の修正を検討させていただければと思います。
会長	・P53とP57が整合性があるように組み替えていただければと思います。
委員	・先ほど菟田野小学校でのパートナーシップ事業と話しされたのは、ふれあい学習のことですか。人権学習などの内容で、スクールバスもそのための送迎もされるものです。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学校地域パートナーシップ事業、放課後子ども教室、人権教育におけるふれあい、すべて含めた上で、学校地域パートナーシップ事業というひとくりのものです。人権教育の推進にあたっては、菟田野小学校でされているふれあい学習が該当するのではないかとおもいます。 ・コミュニティ協議会については、学校地域パートナーシップ事業、人権教育、登下校におけるあいさつ運動などを地域の方々が協働参画していただき地域から学校を盛り上げようという学校応援団のような組織です。 ・委員がおっしゃったように、学校地域パートナーシップ事業においても色々なメニューがありますので、内容を精査し直す形を取らせて頂きたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なジャンルにまたがってきますので、整理させて頂きたいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局のほうでももう少し整理頂いたほうがいいと思いますのでよろしくお願ひします。 ・一つ気になることとして、P47認定子ども園推進のところ定員が多いのが心配です。これから少子化が進む中、予算や国への申請、人材確保など色々な側面はあると思いますが、定員と充足率が十分なのかどうか気になります。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この定員は施設面積としての定員で、最大確保できる人数のことです。榛原地域など充足率の低いところは、将来の子どもの人口推計をみて適切な規模での整備や改修を図っていかなければならないと考えています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保の点が、大きな問題かと思っておりますので、予算も関係するとは思いますが、少し気になりました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の定員は、昔は、建設補助金等に関係しましたが、小泉内閣の三位一体改革の際に、大幅に改革され、公立幼稚園の補助金が無くなり、普通交付税で対応することになりました。面積でこれだけのキャパがありますということで定員という言葉を使用しています。大きい施設を完備しているが、少子化の影響で充足率が下がったと理解頂ければと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P48の人材確保の3番「保育士・教諭等の確保に努めます」とあるが、どのような形で確保を考えておられるのか、教えて頂きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保については、全国、県下でも大変厳しい状況となっています。そうした中、宇陀市では、臨時職員の部分ですが、月給制や担任加算などの処遇改善を行いました。潜在保育士についても、時間給か月給か選択できる制度を導入しました。また、昨年度に引き続き今年度も、保育士・教諭の採用試験の増員もいただいています。 ・ほかに臨時職員の採用も随時広報で募集させていただき、県の保育士人材バンクの登録も考えており、確保に努めていきたいと思っています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ宇陀市に合った人を採用頂いて、宇陀市の子どもたちの育成のために努力して頂ければと思います。 ・P48の4番、教育保育に係る関係機関との連携ですが、保幼小連携として、国も633制度を44にするなどの考えがあるようですが、今後、宇陀市として独自の取り組みも考えていただくのもよいのではと思います。特に幼保小の連携が一番大切だと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・P53の34番に「学びの広場UDAプラン」があり、これが幼保小と中学校までの連携を図るための事業として進めているものです。これは、先生方に、学力の向上のための研修をしていただいているものです。集まることにより、幼稚園・保育所の先生にとっては、小学校でということが大事なのか、小学校の先生にとっては、幼稚園・保育所でどんなことをしているのか、中学校の先生も小学校のことを理解したりと、それぞれの立場を理解しあえる場となっています。 ・宇陀市の子ども達の学力を向上させるために、幼児期からの土台が大切なのではないかということ、さらに研修を深めているところです。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・P52の52番に喫煙飲酒防止対策の推進がありますが、麻薬などの薬害についてはいかがですか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会で薬物乱用の事業を、中学校で実施されています。 ・52番は、今年度、宇陀市の独自事業として、実施された事業です。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターから、喫煙防止について子ども達に早い時期から指導していきたいという話しがあったのですが、なかなか学校の連携がうまくいかなかったようで、教育総務課が間に入り、畿央大学の先生による研修を実施することができました。 ・薬物については、危険ドラッグなども横行している中、各中学校の生徒指導において指導等していますが、講演会等は実施していませんので、計画には記載できませんでした。今後、薬物も含め充実できるよう進めていきたいと思ひます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な計画ですので、文言が入ってもよいかと思ひました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校にも確認し入れられるようであれば、そうさせていただきたいと思ひます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・同じく青少年健全育成に関して、力をいれていかなければならないことに、携帯やネットの正しい使い方についての開発があります。 ・会議の内容とマッチするかわかりませんが、犯罪に巻き込まれたり、犯罪を引き起こす事例が増えているので、重要視されていることだと思ひます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、家庭科の授業で研修しており、パソコンの授業の中でインターネットの上手な付き合いかたの取り組みもしています。 ・中学校では、消費生活センターのDVDを教材に、ネット被害・詐欺等について授業に取り入れています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今は何が起こるかわかりませんので、よろしくお願ひいたします。 ・P61の仕事と生活の調和について、「事業所や地域住民への広報・啓発を進めます」とありますが、特に男性の育休などについて、宇陀市の中で事業所に働きかけ頂ければありがたいと思ひておられます。
(3)議事案件	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画における基本理念(案)について事務局より説明を行った。
	<p><集計結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・案1「子どもも親も 地域に見守られ ともに健やかに育ち 未来に羽ばたけるまち」2票 ・案2「子どもたちの笑顔があふれるまち うだし」8票 ・案3「子育ては宇陀市で みんなで支える楽しい子育て」5票 ・案4「子どもの笑顔が広がるまち 子育てしやすいまち 宇陀市」2票 ・案5【委員提案】「子どもを育み 地域を育てるまち 宇陀市」
意見	【主な理由と意見】
各委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(案2に投票)子どもたちの笑顔がイメージとして浮かぶので選んだ。最後の「うだし」は漢字でもよいと思ひた。 ・(案2に投票)保護者の世代は活字離れしているので、あまり長くないほうがよいと思ひたため選んだ。 ・(案3に投票)子育てということで大人の立場で選んだが、皆さんの色々なご意見を聞いて、最終的には子どもたちのための計画だから子どもたちの笑顔をひきだすのだというご意見はもっともだと思ひたので、今は(案2)がよいと思ひう。 ・(案1に投票)親育てもやはり必要だと思ひう。子も親も見守っていける地域であってほしい、子どもたちは心身ともに健やかであってほしいと思ひうので選んだ。 ・(案3に投票)各案のよいところを合わせて、新たな案として、【新案】「子どもたちみんなで支える楽しい子育て 宇陀市」を提案。 ・「子ども」も「親」も入るのが良いと思ひうので、(案1)の一部分を省いて、【新案】「子どもも親も健やかに育ち 未来に羽ばたける宇陀市」を提案。 ・(案2に投票)子どもたちが楽しんでいる姿が一瞬で浮かぶため。文言が入ってなくても、子どもの笑顔は、親も子育てを楽しんでいるということに直結すると思ひう。 ・(案4に投票)笑顔が広がるのが一番うれしい。親も笑っていてほしいので。 ・(案2に投票)イメージがすぐ浮かぶため。「笑顔があふれる」は明るくて、見ただけでわかる。うだしは漢字がよいと思ひう。

	<ul style="list-style-type: none"> ・【新案】「子どもも親も とともに健やか 笑顔があふれるまち 宇陀市」 ・(案3に投票)即戦力があって、みんなで支えてくれるイメージのため。 ・(案1に投票)地域に見守られているということは子どもにとって大切だと思ったため。 ・(案2に投票)宇陀市が子ども・子育て支援を熱心に行なう理由が、地域の疲弊、消滅の危惧さえある地域のある宇陀市を支えていく子どもを、たくさん育ててもらわなければならないこと。案2には、皆さんのそれぞれのご意見を含めてすべてが凝縮されていると思うため。 ・(案3に投票)親の精神面も子の笑顔のために大切だと思って選んだが、今は(案2)もよいと思う。 ・(案2に投票)誰にでもわかりやすいので選んだ。アピールという点では(案3)も(案4)もよいので、4つの大切な部分を合わせて短くできればよいと思う。 ・(案2に投票)「笑顔があふれるまち」というフレーズには、子どもたちも、親も笑顔があふれるまち、地域などの意味が含まれると思う。 ・(案4に投票)「笑顔」が入っていることと、親に限定してしまうのではなく、子育てしやすいまちという目標が表れているのでこちらを選んだ。 また、市内外に向けて、宇陀市として取り組んでいることのアピールも必要かと思った。政策的に目指していることを表したいと思ったので提案した。 ・【新案】「親も子どもも 笑顔あふれるまち 宇陀市」
事務局	<p>【意見集約案】 「子どもたちの笑顔があふれ 子育てしやすいまち 宇陀市」</p>
各委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「…あふれ…」の後に「る」を挿入してはどうか ・「…笑顔が…」の「が」を省いてはどうか <p>【最終案】 「子どもたちの笑顔あふれる 子育てしやすいまち 宇陀市」</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・最終案として決定してよろしいか。
各委員	(異議なし)
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画案と基本理念について、ある程度まで煮詰まったと思いますので、これから議会等の色々なご意見もあるかと思いますが、後は事務局のほうで最終調整をよろしくお願い致します。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールについて説明
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は2月中旬から3月上旬の開催ということで、本日はこれにて閉会いたします。
(5)閉会	